

舞浜ユーラシアには文化的な遺産となる著名人の作品を所蔵しております。
そのなかで陶芸家として著名な「河井 寛次郎」氏の作品や創作人形作家 安部朱美さんの作品をご紹介します。

○河井寛治郎プロフィール

明治23年、河井寛次郎は島根県能義郡安来町(現在の島根県安来市東小路)生まれ。
大正から昭和の時代に向け京都を拠点に、中国古陶磁の手法に基づいた精巧で雅な作品から実用的・独創的な作品と、
様々な作風で多くの作品を残した日本を代表する陶芸家。
その芸術性は国内外で高い評価を受け、人間国宝、文化勲章などの栄典の話は多々ありましたが全て辞退し、生涯、無位無冠の一陶工を貫き通しました。

【河井寛次郎作・陶芸品】 舞浜ユーラシア 本館 5階レストラン「オーキッド」 小上がりスペース



○安部朱美さんプロフィール

鳥取県西伯町(現・南部町)に生まれる。昭和56年から独自の技法で創作粘土人形を始める。
全国創作人形コンクール(鳥取県用瀬)流しびな大賞受賞、新匠工芸展(京都)入選など。平成19年、米子市美術館で個展を開く。同年、宝鏡寺創作人形公募展(京都)大賞受賞。同20年、米子市文化奨励賞受賞。同22年より「安部朱美創作人形展 昭和の家族—きずな」全国巡回展を開催。

【家族～命をつないで】 舞浜ユーラシア 本館 3階 フロントロビー内展示 スペース



【新しい命が宿る 家族 それぞれの想いで誕生を待ちわびる 普遍的な愛と絆で 命をつないで つないで】

新しく誕生する命を待ちわびる親子、それを見守るおじいちゃん、おばあちゃん。
今の時代だからこそ思い出してほしい、母の愛、家族のいたわり、家族の絆が表現されているだけでなく、この世にあるすべてに注がれ、温かく包み込んでくれるような「慈愛」をこころ抱かせてくれる作品です。